

第 12 回 アジア防災会議(ACDR2016)に参加しました (2016/2/25-26)

テーマ: 巨大災害の防災・減災、国際連携
 場 所: ブーケット県、タイ

平成 28 年 2 月 25-26 日、第 12 回アジア防災会議 (ACDR2016) がタイ政府、内閣府、国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)、アジア防災センターの主催で開催されました。今回の会議の目的はアジア地域の防災・災害のサイクルの共通課題について議論し、各国の防災能力の向上及び防災ネットワークの充実・強化を図ることでした。災害科学国際研究所からはサッパシーアナワット准教授(災害リスク研究部門)が津波対策セッションの招待講演で 2011 年東日本大震災による技術的な教訓、復興の現況等について“Lessons from the 2011 Tohoku tsunami and tsunami mitigation in Japan”と題して講演しました。また、村尾修教授(地域・都市再生研究部門)は、セッションのサマリーと共に“Build Back Better”の効果による津波後の長期的なモニタリングの必要性を提言しました。その他のセッションでは、人材育成の強化、高度技術のコミュニティ防災への活用などのテーマでの発表や意見交換がありました。本会議では最後に、国際共同・連携による巨大災害への防災・対応について議論が行われました。詳しくは、アジア防災センターのホームページ: <http://www.adrc.asia/> をご覧ください。



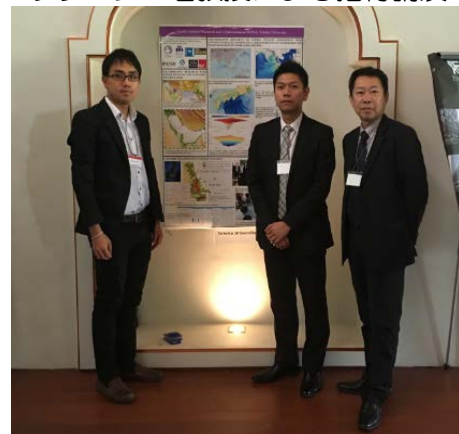
参加者の集合写真



サッパシー准教授による招待講演



村尾教授によるサマリー・サジェッション



IRIDeS での津波研究紹介のポスター

文責: サッパシー アナワット (災害リスク研究部門)